

安倍新内閣スタート、経済産業大臣に茂木敏充氏、文部科学大臣に下村博文氏入閣

—政治家は自らの政治的信念を貫き、日本国民の幸福追求のために高い志を持って行動する—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. いよいよ2012年が終わります。この放送も2012年最後の放送になりますので、今回の「開倫塾の時間」では2012年を振り返ってお話をさせていただきます。
2012年の年末の12月26日(水)に、新内閣の安倍内閣が発足しました。この番組にも始まって以来毎年1年に何回かご出演くださる茂木敏充衆議院議員が、今回の安倍内閣では経済産業省の大臣になりました。経済産業、原子力経済被害対策に関する大臣へのご就任です。茂木敏充大臣は、以前も経済産業省の政務官や外務副大臣、財務大臣をされました。財務大臣を経験され、また、経済産業省にも政務官として一度入られたことがありますので、安倍内閣でも非常に活躍なさってくださいのではないかと思います。本当に期待しています。
3. 私は学習塾を経営していますが、東京都板橋区の博文進学ゼミという学習塾の経営者であった当時から自分が文部科学大臣になりたいということで、東京都で都議会議員をされたり、国政の場で衆議院議員をされたりした方がいらっしゃいます。下村博文という方で、今回、文部科学大臣として初入閣されました。下村先生は小学校3年生の時に父様を交通事故で亡くしたため、自分のような不幸な境遇の子どもたちに教育の機会を与えるために文部大臣になるのだと小学校・中学校時代に決意し、苦しい生活の中、進学校である高崎高校へ進学、政治家になるために早稲田大学へ進学して早稲田大学雄弁部に所属。新聞配達をし、足長おじさんの奨学金を頂きながら大学を卒業。板橋区で学習塾を開業ののち、文部大臣になるために都議会議員に立候補、何回も選挙に落ちながら衆議院議員になられた初志貫徹の方です。私とは学習塾経営者時代の友人であります。この番組にご縁の深い茂木敏充さんが経済産業大臣になられ、私のお友達の一人である下村博文さんが初入閣されて文部科学大臣になられましたので、私は今度の新しい内閣に非常に期待しています。
4. 前内閣の総理大臣であった野田さんにはいろいろなご批判があるようですが、私は高く評価しています。その理由は、日本の国のことを考えてやるべきことはやらなければならないということで、税制改革など国民の負担になることを決定なさったからです。消費税増税のような国民に厳しいことを行えば次の選挙ではうまくいかないことはわかっていながら、また、早い時期に選挙をすれば民主党は大敗することがわかっていながら、国家財政を破綻させてはならない・国民年金制度を破綻させ国民生活を混乱に陥れてはならないと、厳しくとも国益や国民の利益のために政治家としての意志を貫いて解散に打って出たことは一つの生き方であり、国民のことを考えてやってくださったと思

います。それはそれで私としては評価させていただいている次第です。違う考えもあるかもしれませんが、野田さんはよく頑張ったなと思います。

茂木敏充経済産業大臣はケネディ大統領の演説を学校時代に学び、政治家として国民のために活躍したいと高い志を立て、また、下村博文文部科学大臣は子どもたちの幸せのために文部科学大臣になるのだと小・中学生のころから高い志を立て、お二人とも初志を貫徹して大臣に就任されました。このように、政治家の方は、新首相の安倍さんも前首相の野田さんもこの日本という国をどうにかせぬばという確固たる政治的な信念に従って政治的な行動をするわけです。有権者である我々はそれを冷静に見て、次の日本の舵取り役を選挙を通じてお願いするわけですから、日本の政治はよい循環ではないかと思います。日本のこの大変な状況を新しい内閣に乗り切っていただくことを祈っている、そのような今日この頃です。

5. 今年は、私にとっても大変な年でした。足利市長である大豆生田実さんから、足利市経済活性化諮問会議の会長を去年の2011年9月から今年の2012年8月までの1年間仰せつかったからです。この会議では、25名の委員の皆様と毎月1回3時間の本会議を市長や市の部課長、マスコミ、市議員さんたちなどの前で開いて、足利市の経済活性化についての話し合いを持ちました。本会議のほかにも30回以上のヒアリング、ワーキンググループや視察会などを行いました。茂木大臣や衆議院議員の富岡さんからも2時間ずつお話をお聞きいたしました。会議だけでも100時間近くの時間をあてました。そして、2012年4月の段階で630項目の足利市の経済活性化のための中間答申を出しました。2012年8月下旬には、中間答申をまとめ直して230項目の最終答申を出し、足利市長に提出しました。会長である私はこのために個人的には1000時間以上の時間を使いましたので、個人的にも非常に勉強になりました。すべての委員さんは、足利市の経済活性化のためにいくらかでも役に立てばという思いで活動なさいました。

6. 記者会見で記者の方から質問されて、私もそうかと思ったことがあります。それは、最終答申の230項目は、足利市のところを宇都宮市に、あるいはほかの市や町の名前に変えても使っていただけるものがおそらく9割以上あることです。ですから、足利市経済活性化諮問会議の答申に興味のある方は、630項目の中間答申と230項目の最終答申を検索して読んでいただき、提言内容を自分のお住まいの市や町に置き換えて御活用いただければ、こんなに有難い話はないと思います。

また、9月以降は、足利市でも市役所の各担当の方々が自分の部署に関する提言を読み、それらにこれからどのように長期的・中期的・短期的に取り組むかということをも自分の仕事の一つとして研究してくださっているそうですので、こんなに有難いことはありません。さらに、足利商工会議所の皆さんをはじめ足利市内外のいろいろなところからお呼びいただいて、この答申についての説明を一所懸命やらせていただいています。これも有難いなと思います。

7. そんなこんなで、私にとって今年1年は非常に充実した年でした。新政権が発足したことで、ぜひ皆さんにも自分の街のことをどのように考えるか・日本のことをどのように考えるかを十分にお考えいただき、みんなでよい年を迎えたいと思います。今年もこの番組を聴いていただいて有難うございました。お陰様で、この番組も来年2013年3月には27年目に入ります。新しい年に入りましても、どうか引き続きお聴きいただければと思います。どうかよいお年をお迎えください。

— 2013年5月12日加筆・訂正、林明夫記 —